

令和4年度 天皇杯・皇后杯青森県ラウンド

開催に向けた新型コロナウイルス対策について

令和4年6月25日現在

●大会全般に関わる確認事項

- 1 以下の事項に該当する場合、その者の参加を見合わせる。
 - ・発熱（37.5℃以上）や咳等の呼吸器症状など、体調不良の場合。
 - ・新型コロナウイルスに感染し、医療機関・保健所から治癒が認められていない場合。
 - ・濃厚接触者と認定されてから、保健所による待機要請期間を終えていない場合。
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ・過去14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- 2 健康観察票（7/3～7/10）を作成し提出すること。

次の場合については、チーム責任者を通じて、県協会理事長へ相談し慎重にチームとしての参加判断をすること。

 - ① 7月3日～7月10日の期間内にチーム内に健康観察の不良者が出た場合。
 - ② 7月3日～7月10日の期間内に、参加予定者の同居者に健康観察の不良者が出た場合。
- 3 会場までの移動の際の感染防止対策を徹底すること
 - ・移動車両内の換気や座席の分散、マスクの着用など、各チームで配慮すること。

●大会当日

- ① 健康観察票（当日分含む）を受付へ提出する。
- ② 試合会場では原則マスクを着用する。
- ③ 周囲の人との距離をできるだけ確保すること
- ④ 試合前後の手洗い、手指消毒を徹底する。※各チームでハンドソープ・消毒液等を準備する。
- ⑤ トイレ等での手洗いは「30秒以上」を心がけること。また、マイタオルを持参すること。
- ⑥ チームから出た廃棄物は各自責任を持って持ち帰ること。

※鼻水・唾液等のついたごみはビニール袋に入れ密閉して縛るなど、処理には十分配慮すること。
- ⑦ 飲食については、指定の場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離（2M以上）をとって対面を避け、会話を控えめにすること。
- ⑧ チームの荷物置き場（管理）については、各チームで配慮しながら距離を保つこと。

また、退場時には消毒を各チームで行うこと。
- ⑨ 大会期間中に、発熱（37.5℃以上）や咳等の呼吸器症状など、新型コロナウイルスに感染した疑いの症状がある場合は、速やかに大会本部に報告し、その後の指示を仰ぐこと。

●試合について

- ①出場選手以外（ベンチ、ウォームアップエリアも含む）はマスクを着用する。
- ②試合に参加していない選手及びベンチ入り以外のメンバーは、密にならないように距離を確保し、
大きな声での会話や声を出しての応援等を禁止とする。
- ③飲料水やドリンク、タオル等の共有は禁止とする。
- ④試合終了後、各チームで責任を持って使用したベンチ等の消毒を行うこと。
- ⑤試合終了後は参加選手の健康観察を実施する。
- ⑥健康観察後、体調不良者が出た場合には速やかに本部へ報告すること。
- ⑦合同練習の時はベンチの使用を禁止します。荷物などはアップゾーンに置くこと。
- ⑧試合開始・終了の選手同士（審判含む）の握手は行わない。
- ⑨試合前後のミーティングにおいても、密を避けること。
- ⑩本大会では開会式及び閉会式は実施しない。
- ⑪大会参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム責任者は県協会理事長に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

●試合の観戦及び応援について

- ①今大会は有観客で実施する。ただし、大会プログラムに掲載されている選手・スタッフの同居家族のみとする。

入場する際は、健康チェックシート（観戦者用）を受付に提出すること。

※ただし、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては無観客とする場合もある。

今大会に関する問い合わせ先

青森県バレーボール協会 理事長 齋藤 達人
電話 080-9638-9414
E-mail volley.ava.k@gmail.com